

第29回MQI活動

2024年度MQI統一主題

活気ある次世代を担う病院への改革
～患者と地域のための医療体制づくり～

2024年度 MQI 活動キックオフ
推進委員長 柳川達生

みみより
MQI



発行（公財）練馬総合病院MQI推進委員会
〒176-8530 練馬区旭丘1-24-1
Tel.03-5988-2200（代）



第28回発表大会は、令和5年12月2日に地下講堂とオンラインのハイブリッド形式で開催しました。会場には145名（院外からは6名）が参加し、ZOOMでは56名（院外からは18名）が参加しました。多くの皆様にご参加いただき、心より感謝申し上げます。

さて、29年目の活動が始まりました。本年度の統一テーマは「活気ある次世代を担う病院への改革～患者と地域のための医療体制づくり～」です。

病院の発展には、働き甲斐のある職場環境が欠かせません。医療従事者が働きたいと思う病院にこそ人材が集まり、その結果、クリニックからも地域に根ざした病院へと成長します。今年も統一テーマに沿った成果が得られることを期待しています。

まず、3月22日に動画配信を通じてキックオフを実施しました。続いて、5月11日には「半日で活動計画を立てる会」を開催しました。何事も始めが肝心です。活動の立ち上げ段階で綿密な計画を立てることが重要だと考え、毎年この行事を行っています。今年も5つのチームが結成され、活発な議論が展開されました。MQIの目的は業務改善、職員の業務遂行能力・管理能力の向上、そして部署間の調整の促進です。チームメンバーだけでなく、職員の皆様にも積極的な参加を期待しています。

MQI活動キックオフは、今年も感染予防のため、CoMedixによる動画配信形式となりました。

- ① 「MQIキックオフ」 東宏一郎MQI推進委員
- ② 「MQIで実現してきたこと」 植村里美MQI推進委員

CoMedix内のバリテスより、いつでも動画視聴が可能です。
バリテス > 研修・講義 > R6年度MQIキックオフ

2024年度参加チーム紹介

<p>テーマ・チーム名 主体部署・リーダー・サブ</p>	<p>チームリーダーからひとこと</p>
<p>『昼食時の離床率を上げる～食事は起きて食べましょう～』 チーム名称：東洋美人-練馬酒造- 主体部署：リハビリテーション科 萩原早紀 ・小林朱織</p> 	<p>リハビリテーション科では入院中の患者がベッド上で寝たまま食事をしていることが多いことに着目し病棟の離床率向上を目標に活動していきます。医師・看護師・管理栄養士・リハビリ療法士が一丸となって当活動を進めていきますのでご協力お願いいたします。</p>
<p>『手術入室時間による術前絶飲食時間のばらつきを減らす』 チーム名称：口渴感 主体部署：看護部 瑠璃川悠里奈・角田智郎 ・堀之内美帆</p> 	<p>看護部では現行の術前飲水は一律朝7時までとしていたルールを、患者さま毎に術前3時間前まで可能にできるようにしていきます。日本麻酔科学会のガイドラインの近づけることで、質の高い医療・看護の提供と患者さまの心身の負担の軽減を目指し、医師・看護師が一丸となって今テーマに取り組んでいきます。皆様ご協力よろしくお願ひします。</p>
<p>『内視鏡及び関連機器の点検・危機管理・取り扱いをみなおす』 チーム名称：TKG（テンケンキキカンリグループ） 主体部署：内視鏡センター 金田洋輔 ・森下佳子</p> 	<p>当センターでは医師、臨床工学技士、看護師、臨床検査技師、事務員が一丸となって練馬区イチ、TOKYOイチ、日本イチの内視鏡センターを目指しています。そのためには質の高い内視鏡スコープを使用し検査治療を行うことが大切な要因となり、多職種横断的に同じ意識を持つ必要があります。MQI活動を活用し、目標達成へ進めていきたいです。</p>
<p>『施設基準の届出要件を管理する』 チーム名称：ゼロから始める施設基準 主体部署：庶務課 中尾美菜子・河野智恵</p> 	<p>施設基準届出の際、各部署へ人員配置の確認、添付書類などの記載を依頼しており、関係する部署へ負担をかけています。届け出た施設基準の要件を一覧表にし、何をしなければならぬのかわかるようになること『見える化』を目的として活動します。施設基準を維持するためご協力お願いいたします。</p>
<p>『造影CT予約患者の検査を予約時間通りに撮影する』 チーム名称：ラジエーションハウス 主体部署：放射線科 安田恵里佳・橋本彩</p> 	<p>放射線科には毎日多くの患者さんがCT検査を受けに来ますが、その件数は年々増加傾向であり、時間帯や状況によっては予約の患者さんを時間通りのご案内できないといったことが少なくありません。今回は特に時間のかかる造影CT検査に焦点をあて、患者さんの負担を少しでも軽減することを目的として活動していきます。患者満足向上につながるよう、ご協力お願いいたします。</p>

MQ | 半日で計画を立てる会 2024年5月11日 13時～17時30分

★ 参加の皆さま、お疲れ様でした! ★

参加者 69名



チームメンバーの先生方も参加してくれ、活発な議論ができました!



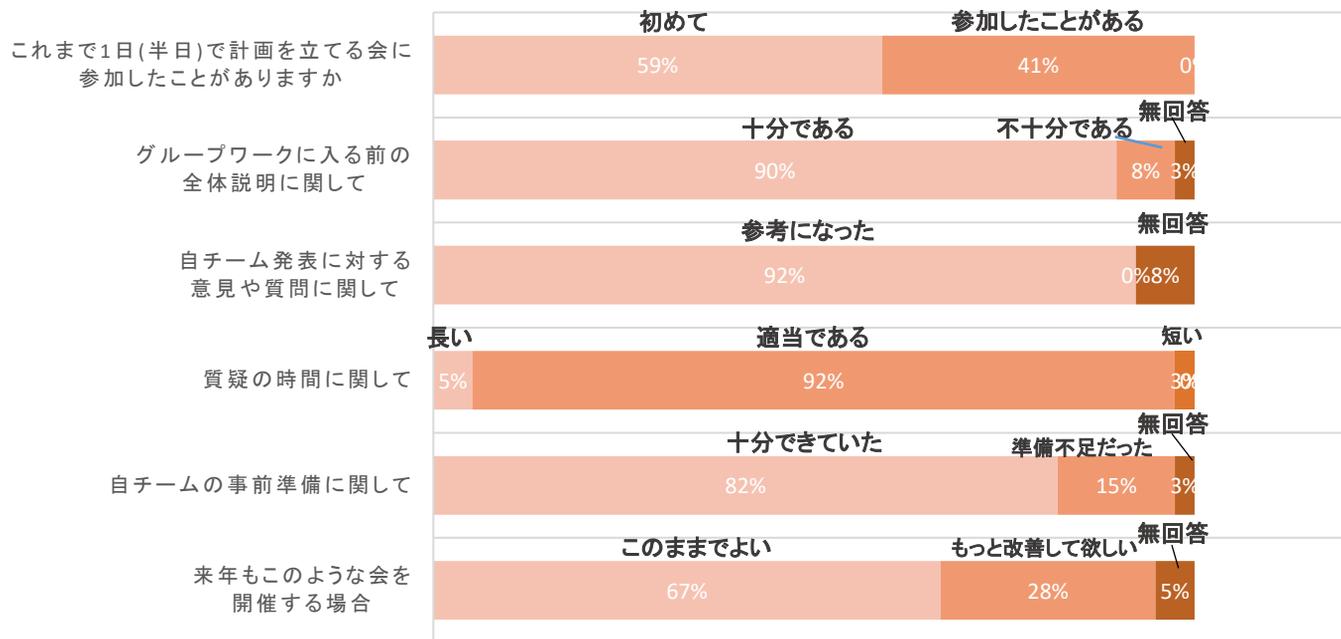
質疑応答、ありがとうございました!

★教育委員会の方々からコメントを頂きました★



半日で計画を立てる会のアンケート結果

アンケート結果



～役職者からのコメント一部抜粋しました～

チーム：東洋美人-練馬酒造-「昼食時の離床率を上げる

～食事は起きて食べましょう～

既に現状把握のデータは収集済みですので、その結果も提示して頂けるとより解りやすかったと思います。食事時間の離床率の調査において対象が2-5階の入院患者となっておりますが食種のデータもとっていますか。活動メンバーに各病棟看護師がいた方が良いのではないのでしょうか。

チーム：口渇感「手術入室時間による術前絶飲食時間のばらつきを減らす」

長い間、実現出来ないテーマでしたので、是非取り組んでほしいです。運用が開始されても手術開始時間の変更や飲水時間を守れない患者さんなど対応が大変なことがあるためインシデントにならずに継続できる方法を見つけたいです。

チーム：TKG「内視鏡及び関連機器の点検・危機管理・取り扱いを見直す」

医療機器の整備は内視鏡や手術室など医療機器がないと検査や手術ができなくなってしまうため必須の項目です。日常点検が誰でも同じレベルで行えることが大切なので頑張ってください。「機器の質の高い状況」の基準の設定が必要かと思います。

チーム：ゼロから始める施設基準「施設基準の届出要件を管理する」

施設基準の届出要件というものが事務以外の職員はほとんど分からないと思います。監査や適時調査の際に前もって準備できることは関連部署も余裕ができていいことだと思います。紙の分厚いファイルではなくデータで確認できるようにしてほしいです。

チーム：ラジエーションハウス「造影CT予約患者の検査を予約時間通りに撮影する」

予約患者の採血結果が出ていなかった場合の対策として6カ月以内前の採血を参考にすることですが6カ月と設定した根拠はありますか。予約患者（当日は無理だとしても）については造影CTのオーダーが出たら近々で採血をしていない場合は採血オーダーが自動的に出る仕組みがあればいいかなと思いました。

2024年度 MQI 推進委員会メンバー

委員長	柳川 達生	(院長)
副委員長	金内 幸子	(医療マネジメント室)
委員	東 宏一郎	(副院長・内科医師)
	小谷野 圭子	(質保証室)
	近藤 拓也	(医事課)
	森 美奈子	(薬剤科)
	青山 駿	(リハビリテーション科)
	渡邊 輝子	(看護部・外来)
	北野 和彦	(臨床工学室)
	北島 絵理佳	(栄養科)
	植村 里美	(看護部・4F)
	安上 尚吾	(放射線科)
	小宮山 海渡	(検査科)
	遊佐 洋子	(健康医学センター) 4月まで
	佐久間 涼司	(人事経理課) 4月まで
	☆岡村 敬信	(医事課)
事務局	☆増井 身和	(人事経理課)
	山越 真弓	(質保証室) ☆はNEWFACE

2024年度 MQI 活動予定表

3/22~3/31	5/11	6/3, 6/17	7月、8月	8月、9月	10月	10/23	11月	12/7	2月
(キックオフ 動画配信)	半日で計画を立てる会	チーム別相談会①	チーム別相談会②	チーム別相談会③	発表スライド×切	予演会	報文集作成	発表大会	継続フォローの会

↑ 今、この地点です。
チーム別相談会のアドバイスを参考にしてください。

今年度のMQI発表大会は12/7(土)に開催予定です。今年度も発表大会までに報文集作成を完了します。MQIでは活動プロセス評価を導入していますので、提出物の遅れがないよう、×切にご注意ください。

第1回チーム別相談会を6/3(月)6/17(月)に開催しました。7月に第2回チーム別相談会があります。7月のチーム別相談会では、対策実施まで進むことを目指して、各チーム活動に取り組んでください。